訓練などに使用する場合の注意

1. 避難訓練等に使用する場合は、点検業者またはメーカー等、消防設備士、消防設備点検資格者等に立ち会ってもらうこと。
2. 降下訓練は必ず上部1名以上、下部出口に1名以上の要員を配置すること。
   下部出口の要員は展張した時、袋本体が、正常に展張されていることを確認すること。(袋全体によじれ等がないことを確認する。)
3. 降下訓練時は必ず1人ずつ降下し、脱出完了後次の人が降下すること。
4. 下部出口の要員は降下者が出口から安全に脱出するように必ず補助すること。
5. 降下時には、摩擦によりすり傷等を受ける場合もあるので長袖、長ズボン、手袋等を着用し、ハイヒール等のかかとのとがった履物で降下しないこと。
6. 降下時に足を急に広げたり摩擦の大きい履物で降下すると回転することがあります。
7. 訓練後は必ず元の状態に格納し、使用時に容易に展張できる状態にしておくこと。

避難器具の点検は有資格者によって、年2回行うように、法令で義務付けられています。

安全上のご注意

◆この製品を安全で正しくご使用いただくために、ご使用になる前にこの「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくお使いください。
◆ここに示した注意事項は、安全に関する内容を記載していますので必ず守ってください。
◆表示と意味は、次のようになっています。

表　示	表示の意味
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が重傷などを負う可能性が想定される内容を示します。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害などを負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。

※物的損害とは、家屋・財産等に関わる損害をいいます。



お問い合せは・・・・・

ORIRO オリロー株式会社

本　社　〒112-0001　東京都文京区白山 4-25-6
URL : https://www.oriro.co.jp　e-mail : oriro@oriro.co.jp

札幌支店	〒060-0008	北海道札幌市中央区北 8 条西 24-1-3 TEL. 011-640-7744　FAX. 011-615-8299
東北支店	〒983-0043	宮城県仙台市宮城野区萩野町 1-16-6 TEL. 022-208-7744　FAX. 022-208-7747
北関東支店	〒350-2201	埼玉県鶴ヶ島市富士見 4-28-35 アークパレス 1F TEL. 049-279-7744　FAX. 049-279-7745
東京支店	〒112-0001	東京都文京区白山 4-25-6 TEL. 03-3814-7744　FAX. 03-3813-2909
横浜支店	〒232-0061	神奈川県横浜市南区大岡 2-17-24 TEL. 045-277-7744　FAX. 045-277-7745
名古屋支店	〒453-0804	愛知県名古屋市中村区黄金通 1-3 ファファーレ黄金 1F TEL. 052-352-7744　FAX. 052-352-7775
大阪支店	〒552-0007	大阪府大阪市港区弁天 2-14-24 TEL. 06-6572-7744　FAX. 06-6574-2994
九州支店	〒815-0031	福岡県福岡市南区清水 3-9-21 TEL. 092-551-7744　FAX. 092-511-6555
新潟営業所	〒959-0227	新潟県燕市粟生津山王 724 TEL. 0256-92-7744　FAX. 0256-92-4949
埼玉東営業所	〒336-0022	埼玉県さいたま市南区白幡 5-16-20 ビューロ MK1F TEL. 048-829-7400　FAX. 048-829-7410
千葉営業所	〒273-0033	千葉県船橋市本郷町 421-2 大塚ビル 1F TEL. 047-311-4470　FAX. 047-311-4474
東京西営業所	〒183-0022	東京都府中市宮西町 3-5-4　パークヒル 2F TEL. 042-319-0644　FAX. 042-319-0844
メンテナンス部	〒113-0001	東京都文京区白山 1-23-12 清水ハイツ 1F TEL. 03-3815-7744　FAX. 03-3815-7745
広島出張所 (九州支店管轄)	〒732-0052	広島県広島市東区光町1-11-5 チサンマンション広島506 TEL. 082-258-7220　FAX. 082-258-7221



●本製品は予告なく変更することがあります

2026.08　改訂版

ORIRO

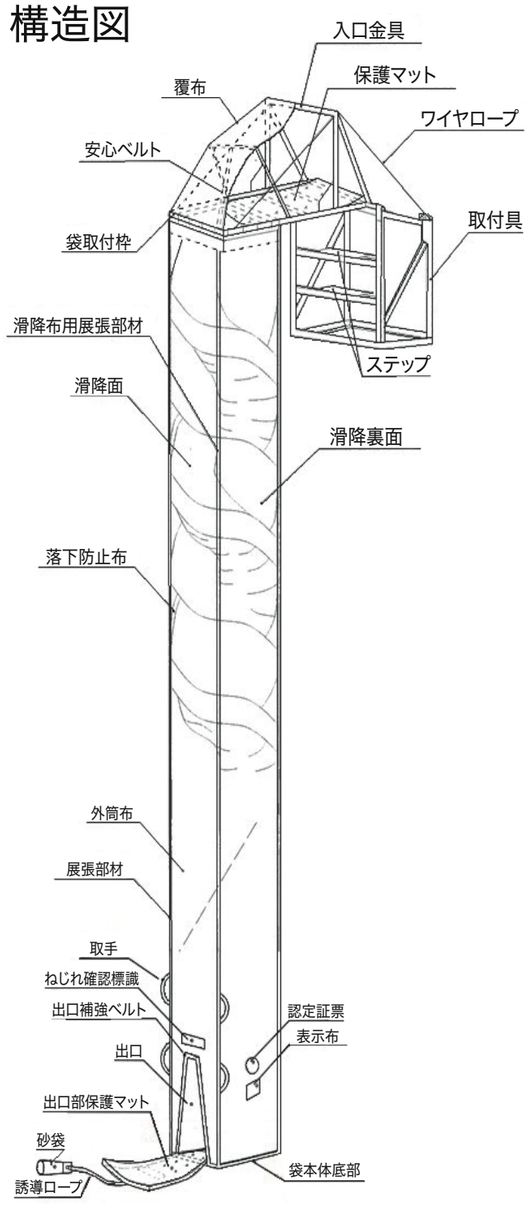
ORIRO 垂直式救助袋
取扱説明書

一般財団法人　日本消防設備安全センター
認定番号 ふV - 005号 (WA)
ふV - 005-2号

構造と各部の名前

● ORIRO 救助袋 垂直式 WA

構造図



概　　要

◆◆◆ 垂 直 式 ◆◆◆

1. ORIRO 救助袋 WA

災害時の避難を目的として、使用者が上部だけで操作し、袋本体の内部に一定の勾配を設けた、らせん状の通路を垂直に降下する避難器具です。

2. WA の構造

袋本体は、らせん状に降下する円筒形で、円筒形の中心部に１本の展張部材（ベルト）を設け外装体（布）の内部と展張部材との間に、らせん状に一定の勾配を設けた滑降布を縫着して、安定した速度で降下し、さらに展張部材４本を縫着させ袋本体に加わる荷重を保持させ垂直に避難できる構造です。

3. ORIRO 救助袋 WA の仕様（表示）

袋本体の出口部付近に貼付けされています。



①

(表示布)

② **ORIRO 救助袋**

③	種　別	垂直式 WA型		
④	階　数	階	袋　長	m ⑦
⑤	製造年月		製造番号	⑧
⑥	認定番号	ふV-005-2号	型式記号	WA ⑨
	製 造 者	オリロー株式会社 東京都文京区白山4-25-6　TEL.03-3814-7744		⑩

①は（一財）日本消防設備安全センターの個別認定合格の証票です。
②–当社の商標登録名です。
③–垂直式救助袋の種別登録記号です。
④–器具の設置されている階数の表示です。
⑤–製造された年月の表示です。
⑥–垂直式救助袋の認定番号です。
⑦–設置されている個所の袋本体の全長です。
⑧–製造された製品の製造番号です。（お問い合わせの際は製造番号をお知らせください。
⑨–垂直式救助袋の登録型式記号です。
⑩–製造者の表示です。

主　要　材　料

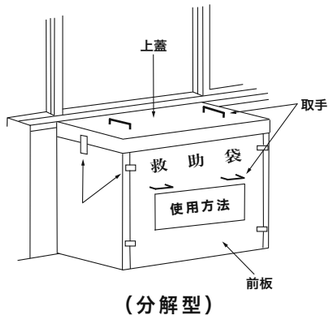
(標準仕様)

	名　称	材　質	規　格
袋本体	外　装　布	ポリエステル5号	引張強さ　タテ、ヨコ1.000N 以上
	滑　降　布	ポリエステル5号	引張強さ　タテ、ヨコ1.000N 以上
	金具覆い布	ポリエステル5号	引張強さ　タテ、ヨコ800N 以上
	展 張 部 材	ポリエステルベルト	引張強さ　8.900N×4以上
取付具	取 付 金 具	鋼　　材	L－65×65×6 □－50×50×2.3
	入 口 金 具	一 般 構 造 用 鋼 管	7.2φ×2.8 34.0φ×3.2 42.7φ×3.5
縫　糸		ナイロン、ポリエステル	#5、#2
誘導ロープ		PPマルチフィラメント	16打、6φ　オレンジ
吊りロープ		ワイヤロープ	6φ、8φ、10φ、12φ
保護マット		フェルト	厚さ10mm以上
取　手		ナイロンベルト	50×2.0
名　称		**材　質**	**仕　上**
格納箱	鋼　　板	ボンデ鋼板 1.2mm	粉体焼付塗装仕上げ
		ステンレス鋼板 1.2mm	ヘアライン仕上げ
		アルミ鋼板 1.5mm	アルマイト仕上
	取　手	亜鉛合金	サチライトクロムメッキ仕上

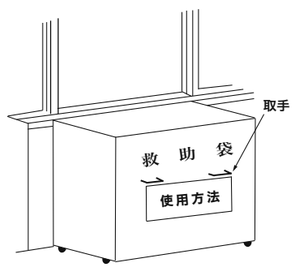
荷　　重

種　別	荷　重　(N)		付加荷重 (N)	荷重方向
垂直式救助袋	袋長が 10m 以下のもの	6.600N	入口金具重量	鉛直方向
	袋長が 10m を越え 20m 以下のもの	9.000N		
	袋長が 20m を越え 30m 以下のもの	10.350N		
	袋長が 30m を越えるもの	10.650N		

格納箱



（分解型）

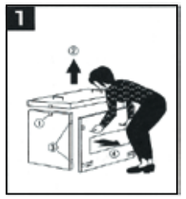


（手前引き型）

垂直式操作方法

垂直式救助袋取扱説明

①格納箱を取り外す（分解型）



1. 上蓋の両側についている止め金具を外し①、取手を持って上蓋を取り外す。②
2. 前板の両側についている止め金具を外し③、取手を持って前板を取り外す。④
3. 救助袋の取付けてある開口部の窓、カーテン、ブラインド等を完全に開放する。

⚠ 注意– ● 格納箱の止め金具に指を挟まれないようにすること。指等に、ケガをする恐れがあります。

（手前引き型は、取手を持って手前に引き、取り除く。）

⚠ 注意– ● 手前に強く引くと倒れることがあります。

②バンドを引き、砂袋を投げる



1. 袋本体を締めてあるバンドを手前に引きバンドを解く。①
2. 誘導網の先端についている砂袋を地上に投下する。②

⚠ 注意– ● 誘導網の輪がもつれてないか確認する。
● 砂袋を投下する時、ひさしや、階下の屋根等の障害物がある場合は、引っ掛からないようにすること。砂袋が途中で引っ掛かると袋の展張ができません。
● 地上に人がいないことを確認すること。地上に人がいる場合は、注意して砂袋を投下すること。

③袋本体を降ろす



1. 袋本体を先端から徐々に地上に降ろす。①

⚠ 注意– ● 袋本体を降下させる時、障害物などにより途中で静止した場合は袋本体を引き上げ、降ろし直すこと。
● 袋本体を降下させる時にサッシの角、止め金具等の障害物に引っ掛からないようにすること。袋本体が損傷を受けることがあります。

▲ 警告– ● 袋本体が途中から自重で急速に落下することがありますので、手や衣服等を巻き込まれないこと。転落等の恐れがあります。

④入口金具を回転させる



1. 袋本体が降下し終わったことを確認する。①
2. 入口金具の両側のワイヤロープ２本を持つか④、または入口金具の下端部分のパイプを持って回転させる。②
3. 入口金具の２段、３段とアームを伸張する金具は折りたたんだままの状態にて回転させる。③

⚠ 注意– ● 入口金具を回転する時、指や衣服等を巻き込まれないこと。ケガの恐れがあります。
● 伸張させた状態で回転させると開口部上端に当たり回転できません。

4. 入口金具が一定の所で静止した状態で両側のワイヤロープ２本が正常に展張されているか確認する。④
２段、３段とアームを伸張する金具で、入口金具の上端部にバンドの付いているものは、バンドを引く。入口金具の内部よりアーム（支持枠）を伸張させ全体が正常に伸張されているか、内側、外側より確認する。

⚠ 注意– ● 正常に伸張されていないと降下できません。

⑤降下する

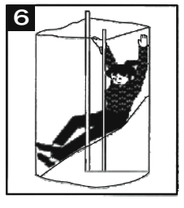


1. 取付金具に設けられているステップを手前に倒す。①
2. 入口枠の上端を持って足から入り、正面にある安心ベルトを持って両足を揃えて降下姿勢をとる。②

▲ 警告– ● 降下者は頭から袋の中に絶対に入らないこと。頭から地上に着地するため大変危険です。
● 袋の中に勢いよく入らないこと。加速がつき出口で飛び出す事があります。

⚠ 注意– ● 入口金具の入口部で立ち上がらないこと。立ち上がると開口部の枠等で頭を打つ事があります。

⑥降下姿勢

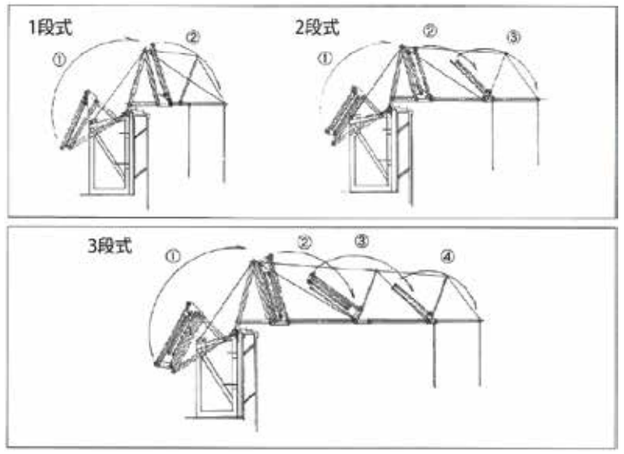


1. 降下中、両手を上に上げて右膝を内側に心持ち曲げ、背中及び腰部で滑り降りる。

▲ 警告– ● 降下中は、腕や足を急に広げたり、突っ張ったりすると、急ブレーキがかかり、袋の中で回転する恐れがあるので絶対にしないこと。

⚠ 注意– ● 降下中、袋本体布との摩擦により手や肘等にすり傷を受けることもあります。
訓練などで使用する場合は、長袖、長ズボン、手袋等を着用すること。

取付金具の主な種類



引き上げ格納の手順

1. 取付具内のステップをもとに戻す。
2. 伸張されているものは、入口枠の先端より内部から順番に手前に折りたたみ、アームが折りたたまれた状態で（２段、３段とアームの伸張するものでベルトの付いているものは、ベルトで固定し）手前に回転させる。入口金具図④～①の順に収納する。

⚠ 注意– ● アームを伸張したままの状態で入口金具を回転すると収納ができません。
● 入口金具を折り畳む時、手や衣服等を挟まれないこと。手や腕をケガをすることがあります。

3. 入口金具を取付具に納めた後、袋本体を引き上げる。

▲ 警告– ● 引き上げる時、袋本体の自重で戻されて、転落等の恐れがあります。
⚠ 注意– ● 袋本体を引き上げる時サッシの角、開閉用ストッパー等の障害物に引っ掛けないようにする事。

4. 袋本を引き上げた後、上部（袋入口部）から、つづら折りに入口金具の内部に格納する。

⚠ 注意– ● 使用時に容易に展張できるように、正常に格納する事。

5. 下部出口部を上に乗せてバンドで入口金具、袋本体を縮めて、誘導網がもつれないように直径 25cm～30cm 位の輪に束ねて下部出口部の上に乗せる。

6. 格納箱の分解型のものは、前板、上蓋をはめ込み止め金具を止める。手前引き型の場合は、元の位置に格納箱を戻す。

⚠ 注意– ● 正常に収納されていない場合は非常時に使用できない場合がありますので正しく収納してください。
● 止め金具が止まっていることを、確認すること。
● 格納箱上や周囲には使用時に障害になるようなものを置かないこと。

⚠ 注意　指・衣類のはさみ込み